

2021年 入試改革

成績提供システム 大学利用の概要

初年度は全大学で手続きが必要！

旺文社 教育情報センター 2019年7月2日

5月末から6月初旬にかけて、大学入試英語成績提供システムに関する発表が立て続けに2本あった。1つが大学入試センターから「『成績提供システム』の利用について」(5月30日)、もう1つが文科省から「成績提供システム運営大綱」(6月5日)。いずれも大学に対してのものだ。

共通IDの申込スタートが11月に迫っており、急ピッチで制度設計が進められている。本記事ではこの2つの発表についてまとめた。

- ※以下、短大、専門職大学、専門職短大も含めて「大学」と表記。
- ※大学入試英語成績提供システム＝「システム」、あるいは「成績提供システム」と略記。
- ※以下、一部予定の内容を含む。

●大学がシステムを利用する場合の手続き

新入試初年度は、システム利用を希望する全大学で手続きが必要。

要は新規利用の手続きで、初年度は当然、全大学が該当する。現行のセンター試験の新規利用に準じた様式で、大学は「利用する外検」や「利用方法」などをまとめ、2020年2月29日までに文科省と大学入試センターへ通知しなければならない。

●大学がシステムを使うことができる入試

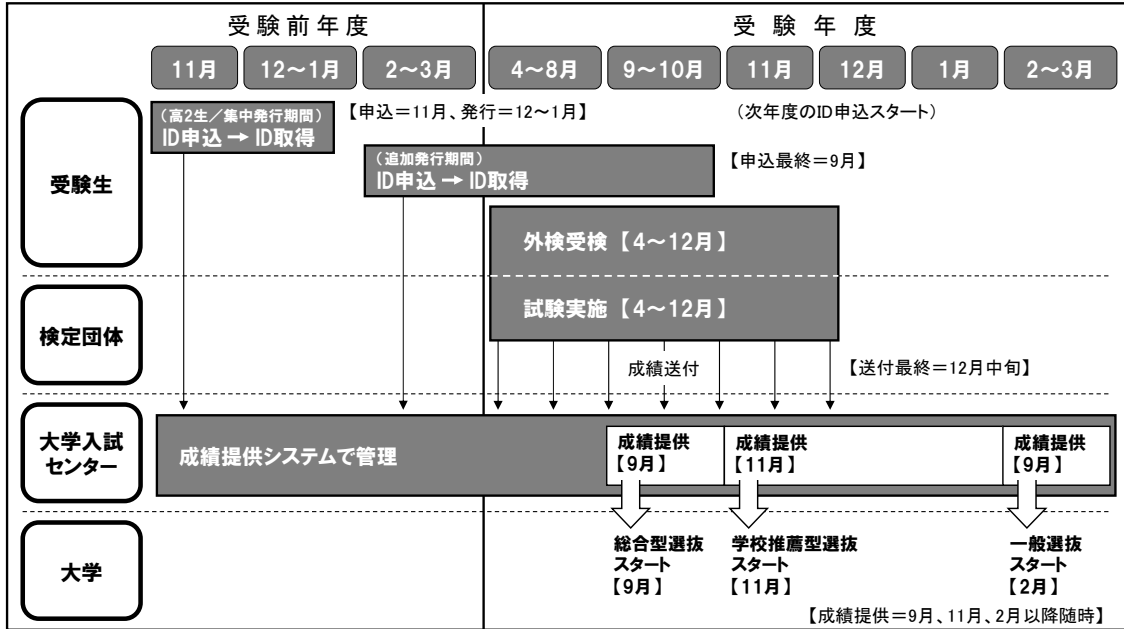
大学は一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、すべての入試で利用が可能。共通テストを使わない入試でも、共通テストをまったく使わない大学でも、システムを利用することができる。

●大学へ提供される成績(予定)

- (1) すべての認定試験について提供するもの
⇒ 全体のCEFR、全体のスコア。
- (2) 一部の認定試験について提供するもの
⇒ 技能別のCEFR、技能別のスコア。その他「級の合否」など、認定試験の各団体が受検者に提供している情報。

●大学への成績提供スケジュール

成績提供システム 運用スケジュール(予定)



※入試センター、文科省資料をもとに作成。時期等はすべて現段階の予定であり、今後変更がありうる。
 ※2019年度の高3生に限り、高3の12月頃に高校一括申込を可能にする予定(浪人したときのための共通ID)。

受験生は共通IDを取得し、それを使って高3(受験年度)の4月~12月の間に2回まで認定試験を受検することができる※。各認定試験の成績は成績提供システムに一元管理され、大学からの求めに応じて提供される。

大学への提供時期は、総合型、学校推薦型、一般選抜のスタートにあわせ、9月以降、11月以降、2月以降の3回を予定。各期間中、大学は土日、祝日、年末年始を除き、原則、毎日請求することが可能で、入試センターは即日提供する(成績処理等のため、提供ができない期間を設定する予定)。

認定試験の各団体は、いつの認定試験が、いつの成績提供に間に合うのかを明示することが必要で、大学はそれに基づいて、各入試で有効となる(成績提供が間に合う)認定試験は何なのかを受験生に明示することが必要になる。

※例外措置については4月17日記事「[新入試 初年度の既卒生、浪人後に外検受検が必要!](#)」を参照。

●前年度の成績利用

大学は、既卒生については前年度の成績も提供を受けることができる(大学判断)※。大学は利用の可否について受験生に明示。

※受験生が前年度にシステムに成績を登録していることが必要。そのため新入試初年度に関しては、既卒生の前年度の成績利用は不可。

●認定試験の決定、公表

いわゆる認定試験は毎年固定ではない。新入試 2 年目の認定試験の申込受付も、つい先日まで行われていたところだ。これらの決定、公表は入試センターが行う。大学に対しては「認定試験の種類を限定しないことが望ましい」としている。

各認定試験の具体的な実施日時については、各実施団体が公表するほか、入試センター HP からも閲覧できるようにする予定だ。

●大学がシステム利用をする手数料等

大学が利用する成績	成績提供の手数料	請求時に使う受験生情報	成績請求時期
認定試験のみ	左記3区分で設定予定。 単価はシステムの開発・運用 費用を勘案して決定。	共通ID。	9月以降。
共通テスト&認定試験		共通テストの「試験場コード &受験番号」。	2月以降。
共通テストのみ			

※入試センター発表資料より。現時点での予定。

大学は、共通テストの成績も認定試験と同じシステム（要は成績提供システム）から提供されることになる（そもそも成績提供システムは、センター試験の既存のシステムを改修して構築）。

同じシステムでも共通テストのみで利用する場合は、すでにセンター試験を利用している大学であれば、特段、利用にあたって手続きは必要ない（共通テストを新規利用する大学、学部等はその手続きが必要）。しかし「大学入試英語成績提供システム」として利用する場合、つまり認定試験の成績提供を希望する場合は、P.1 のとおり全大学で手続きが必要だ。

料金は、受験生は無料（共通 ID の発行）の予定だが、大学側から成績提供の手数料が徴収される。

大学は認定試験の成績のみを請求するのか、共通テストが絡むのかで、請求時に使う受験生情報が異なるので注意されたい。

共通テストが絡む場合の成績請求時期は 2 月以降とされているが、別途発表された「共通テスト問題作成方針」（入試センター6月7日発表）では、大学への成績提供は「私立大＝2021年2月9日から」「国公立大＝2月11日から」「国公立大の共通テストを課す総合選抜、学校推薦型選抜＝2月10日から」となっている。

認定試験の成績のみを請求する場合、現在のセンター試験の「成績請求票」の扱いについては現在検討中だ。

●今後の予定

成績提供システムについては、高校に対して共通 ID の「申込案内」「取りまとめ要領」が今月、大学に対しては「成績提供要領」が 12 月に配付される予定となっている。